

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.8-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
------	----	-------	-----	-----	------------------------

【第4章】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
76	4-3-1 観光施策と展開方針 6 官民連携による受入れ体制の整備	観光事業の推進主体は、観光協会のほかにも、伊那市観光株式会社、振興公社、JA、商工会議所、商工会、企業、個人、ボランティアなどがあり、観光協会の役割を明確にするだけでは的外れで不十分である。修文の案として、「観光推進主体の役割を明確にし、効果的な事業推進体制の構築を目指します。」とすることを提案する。	○(一社)伊那市観光協会の役割を明確にし、会員が主体となって活動できる仕組みづくりを支援します。	○ <u>観光推進主体の役割を明確にし、効果的な事業推進体制の構築を目指します。</u>	(部)意見を踏まえた修正を行う。 意見を踏まえ、原案を修正します。

【第5章】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
77	5-1-1 学校教育施策と展開方針 1 「学校教育の充実」	原案の施策と展開方針は、全てにおいて総花的で、人を育てるということにロマンを感じられない。教育の根幹である「1 学校教育の充実」の内容について再考されたい。	○意欲に関わる学力の伸長を大切に考え、地域の自然や文化・伝統など体験を通じて行なわれる総合的な学習を推進し、伊那市ならではの「食育」・「読育」・「木育」・「花育」をはじめとする体験型学習に取り組みます。	○ <u>伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」を具現するため、すべての教育活動を「子どもに発し、子どもに還る」ものとするよう努めます。</u> ○ <u>子どもたちの「生きる力」「自分の学ぶ力に対する自信」を育み、豊かな人間性を身につけられるようにするため、総合的な学習の時間の取組等を、伊那市の自然や文化、伝統、産業などにかかわる体験的な学習をもとに推進します。</u>	(部)検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
78	5-1-1 学校教育施策と展開方針 1 「学校教育の充実」	最近の子は、パソコン、スマホ、ゲームに夢中になり、人と接することがないので心の痛みや体の痛みを理解できなくなっていると感じる。心の痛みや体の痛みを理解させる教育が必要であり、そうした記載をお願いしたい。		No.77に同じ	(部)第3項「心の教育」とも関係するため、その内容も含め検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
79	5-1-1 学校教育施策と展開方針 1 「学校教育の充実」	伊那市では、花育や林育など良い取り組みがある。子供たちが学校にある花や木を大切にすることは必要であり、豊かな心を育むことにつながると思うので、そうした記述も追加されたい。		No.77に同じ	(部)表記について検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
80	5-1-1 学校教育施策と展開方針 4 「学校施設の耐震化・長寿命化と適正配置」	最初の○に「快適性」という言葉があるが、夏場の暑さが問題になっている。県でも予算化して冷房設備の設置を進めていくようであるので、そのあたりの方針もきちんと記載するべきである。	○「非構造部材耐震化計画」に基づき、小中学校体育館の非構造部材の耐震化・校舎の大規模改修工事等建物の長寿命化を実施し、安全性・快適性を重視した施設の整備を推進します。	○ <u>小中学校の安全性・快適性の向上を図るため、「非構造部材耐震化計画」に基づき、体育館の非構造部材の耐震化・校舎の大規模改修工事等建物の長寿命化を実施するとともに、暑さ対策にも取り組みます。</u>	(部)表記について検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
81	5-1-1 学校教育施策と展開方針 5 「学校・家庭・地域の連携強化」	こども安全見守り隊に特化した内容にとどまっておらず、キャリアフェスなどの取組を展開している中で、地域との連携強化の方針としては弱いと感じる。「よりよい教育環境推進連絡会」の記載を明記し、積極的に学校教育に関わっていただくという姿勢を表現するなど、記載内容の充実を検討されたい。		○ <u>総合的な学習やキャリア教育、暮らしのなかの食など多くの機会を通じて、これまで築いてきた地域との関係をさらに発展させていきます。</u>	(部)キャリアフェス、食育の関係など、様々なところで地域との関係を築き、発展させていくという方向で修正する。 意見を踏まえ、追記します。
82	5-1-1 学校教育施策と展開方針 5 「学校・家庭・地域の連携強化」	4つ目の○の文章が、「地域に開かれた教育」と「働き方改革」という2つの異なる内容を1つの文章にまとめているため、それぞれ独立させ、別項目として記載するよう検討されたい。	○教職員の長時間勤務の解消のため、長野県教育委員会など関係機関と協力し、分業化、協業化、効率化を進める「働き方改革」を推進するとともに、地域に開かれた学校づくりを進めるため、地域との連携による「信州型コミュニティ・スクール創造事業」に取り組み、地域の人材が学校ボランティアとして活躍できる組織・環境を整備します。	○ <u>教職員の長時間勤務の解消のため、長野県教育委員会など関係機関と協力し、分業化、協業化、効率化を進める「働き方改革」を推進します。</u> ○ <u>地域に開かれた学校づくりを進めるため、地域との連携による「信州型コミュニティ・スクール創造事業」に取り組み、地域の教育力が学校の教育活動の充実につながるようにします。</u>	(部)意見のとおり修正する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
83	5-1-1 学校教育施策と展開方針	教員の研修に関する項目がほとんど記載されていない。現場の教職員の就業意識を増進させる取組を推進していくべきと考えるため、記載について検討されたい。		○ <u>教員の資質・指導力の向上を図るため、ICT機器の活用や新しい教科等の指導についての研修を充実させます。</u> (「1. 学校教育の充実」の最後に追加)	(部)検討する。 意見を踏まえ、追記します。
84	5-1-1 学校教育施策と展開方針	情報教育については記載があるが、英語の必修化ということもあり、「グローバル」というキーワードがどこにも出てこないため、追記を検討されたい。	○学校図書館の充実やボランティアの協力による読書活動の推進、児童生徒の国際理解や語学力向上に向けたALTの配置など新学習指導要領に対応した外国語学習により、心豊かな人間性の獲得と自ら学ぶ意欲を育みます。	○ <u>自ら学ぶ意欲や心豊かな人間性を育むため、学校図書館の充実やボランティアの協力による読書活動等を推進します。</u> ○ <u>グローバルな見方、考え方を育むため、ALTの配置やICT機器を活用した外国語指導の充実を図ります。</u>	(部)追記する方向で検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.8-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
85	5-1-1 学校教育 KPI	「信州型コミュニティ・スクール創造事業」に関するKPIの設定について検討されたい。		【まちづくり指標(KPI)】 ボランティア登録者数 現状値 1,287名 H29 目標値 1,500名 2023 備考 地域で支える学校サポート活動(県調査)	(部) 検討する。 意見を踏まえ、追記します。
86	5-1-1 学校教育 KPI	●5年間でわかるという児童・生徒の割合を0. ●%増やして、それが社会的にどう教育を推し進めている評価といえるのか疑問であるので、再考されたい。 ●学校教育について、目標を数値化することがふさわしいかということは、極めて疑問であるため、教育分野における指標の数値を入れる必要があるかどうかということについても、検討されたい。	【まちづくり指標(KPI)】 「授業が、とても、あるいは、概ね分かる」と答える児童の割合(小学校) 現状値 93.8% 2016 目標値 94.0% 2023 備考 学校経営概要 「授業が、とても、あるいは、概ね分かる」と答える生徒の割合(中学校) 現状値 89.6% 2016 目標値 92.0% 2023 備考 学校経営概要	【まちづくり指標(KPI)】 体育館非構造部材耐震化工事実施済学校数 現状値 12校 H29 目標値 21校 2023 耐震化整備状況	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
87	5-1-2 教育連携 施策と展開方針	国際交流や異文化の体験が子どもたちの語学に対する意欲の向上や意識の動機づけなどにつながると期待するため、そうした内容の記述についても検討されたい。		No.84に同じ	(部) 記載箇所を含め検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
88	5-1-2 教育連携 施策と展開方針	小・中学校ではキャリア教育が盛んであるが、高校や大学への進学で伊那を離れる時期に改めてキャリア教育をして、いずれ戻って来たいというモチベーションを持たせるような機会を積極的につくるのが重要だと考える。高校・大学と連携したUターン施策について検討されたい。		○自分の育った地域を愛し、誇りに思う気持ちを育み、生き方を深く考えられるよう、上伊那地域の高等学校や大学等と連携したキャリア教育に取り組みます。 (「1.高等学校との連携」の最後に追加)	(部) 検討する。 意見を踏まえ、追記します。
89	5-1-2 教育連携 施策と展開方針	学習面に特化した書きぶりとなっているが、本来はもっと社会につながっていく視点が必要である。「教育」というくくりだけでなく、「高等教育と社会連携」のように、もう少し広い意味で、子供を育てることであったり、義務教育が終わった後、子どもたちを社会に出させる施策という位置づけで検討されたい。		No.88に同じ	(部) 検討する。 意見を踏まえ、追記します。
90	5-1-2 教育連携 施策と展開方針	高等教育の分野において、伊那市は様々な素材やフィールドを提供し、サポートするという取組ができればよいと感じたところである。大学などの高等教育の研究場所として伊那市を売り出していくことを提案する。		(原案のとおり)	(部) 検討する。 ご指摘については、本計画(案)第4章3節2項中の「シティープロモーションの推進」の具体的な施策で実施して参ります。
91	5-1-2 教育連携 施策と展開方針	多様な主体と連携を広めていくのであれば、特定の学校(高遠高校、信州大学、東京藝術大学、南信工科短期大学)に限定した書きぶりとしないうほうがよい。(せめて「等」をつけるなど。)	○児童生徒の感性を育み、学習意欲を高めるために、信州大学や東京藝術大学、長野県南信工科短期大学との連携、交流をさらに推進します。	○児童生徒の感性を育み、学習意欲を高めるために、信州大学や東京藝術大学、長野県南信工科短期大学等との連携、交流をさらに推進します。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
92	5-1-3 心の教育 施策と展開方針	解消することがよいとは一概に言えないケースもあり、「不登校の解消に努める」という表現が方針となってしまったよいか疑問である。不登校の子の悩みは、まわりからの「学校へ行かねばならない」というプレッシャーであり、そのことで自分を責めてしまうという連鎖が生まれる。学校へはどうしても行かなければならないのか。フリースクールのような第2の学校という環境をつくり、そちらに安心できる居場所をつくるほうが良い場合もあると思う。内容について再考されたい。	○子ども相談室や中間教室を中心に、学校・家庭・地域・関係機関が連携した相談・支援体制を構築し、不登校の解消に努めます。	○不登校児童生徒を支援するため、子ども相談室や中間教室を中心に、学校・家庭・地域・関係機関が連携した相談・支援体制の一層の充実を図ります。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
93	5-1-3 心の教育 KPI	不登校児童・生徒を減らすとあるが、人間教育をする教育社会において、不登校児童に対する差別を感じさせる項目であるため、再考されたい。	【まちづくり指標(KPI)】 小学校不登校児童の割合 現状値 0.26% 2016 目標値 0.25% 2023 中学校不登校生徒の割合 現状値 1.99% 2016 目標値 1.85% 2023	削除	(部) 検討する。 心の教育は、KPIにそぐわないものと考え、削除します。

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.8-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
94	5-1-4 青少年健全育成・家庭教育施策と展開方針	LINEを使った相談などの事例は、相談することに対するハードルを下げることも多様性という意味では非常に興味深いことだと思っている。結局は、スタッフの体制をどう整え、相談体制を維持していくかということにつながると思うが、相談体制の充実・強化に取り組むことを検討されたい。	○SNSを介した人間関係のトラブル、いじめへの発展、子どもの性被害など、情報機器使用に伴うリスクに対応するため、学校など関係機関と連携してネットリテラシー教育の充実に努めます。	○SNSを介した人間関係のトラブル、いじめへの発展、子どもの性被害など、情報機器使用に伴うリスクなど子どもが抱える様々な問題に対応するため、学校や関係機関と連携してのネットリテラシー教育の充実とSNSを活用するなどした相談体制の強化に努めます。	(部) 記載箇所を含め検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
95	5-1-4 青少年健全育成・家庭教育施策と展開方針	社会福祉協議会で運営しているこども食堂について、青少年の健全育成の観点からも積極的な支援を図られたい。		(原案のとおり)	(部) 検討する。 ご指摘については、本計画(案)第3章第2節第3項中の「社会福祉協議会との協働」の具体的施策で実施して参ります。
96	5-1-4 青少年健全育成・家庭教育 KPI	●学童クラブの登録者数を増やすという目標は、理解しがたい。家庭教育が充実を目指すことによって、家庭に子どもが帰っていきけること(数を減らすことを)を目標とするべきではないか。 ●「登録者数」という表現は、増やさなければならないということになると思うので、実態に即した「受け皿の確保」ということであれば、「定員数」とか「定員枠」という表現のほうが適していると考えられる。	【まちづくり指標(KPI)】 学童クラブ登録者数 現状値582人、目標値730人	学童クラブ定員数(受入れ整備目標) 現状値775人、目標値850人	(部) 参考にする。 意見を踏まえ、原案を修正します。
97	5-2-1 生涯学習施策と展開方針 「5 人権同和教育の推進」	人権同和教育は、第1章の「人権」の分野のなかで、様々な差別に対しての取組を行うという構成とするほうが、計画全体のバランスがよいのではないかと感じる。掲載箇所の構成について検討されたい。	◆人権同和教育◆ 【第1次総合計画での主な取組】 ○人権政策や学社連携の推進、人権同和講座の開催や指導案集の作成により、人権同和教育の充実に図りました。 【施策分野における現状と課題】 ○様々な人権同和に関する問題について、学社連携をはじめ地域全体が連携して対策を講じる必要があります。 【第2次総合計画における施策と展開方針】 ○より多くの市民が関心を持つことができる内容の工夫が必要であり、学社連携に加え、地域全体での連携による人権同和教育を進めます。	(削除)	(部) 構成について、再度精査する。 意見を踏まえ、第5章の記述を削除し、第1章に集約します。 (5-2-1 に記載の「人権同和教育」の項を全削除し、1-1-3人権尊重社会に集約する) ○年齢に応じた学校人権教育、社会人権教育、企業人権教育などの人権同和教育を推進し、互いに尊敬を認め人権を尊重する心を育成します。
98	5-2-1 生涯学習施策と展開方針	文化・芸術の分野に総合図書館としての位置づけであるはずの「伊那図書館」についての記述が出てこないことが疑問である。図書館が、文化・芸術分野における一番のシンクタンクになると思われるので、機能・方向性の面からも記述を加えたほうがよいと考える。「生涯学習」の分野と「文化芸術」の分野の記載の棲み分けについて検討されたい。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○伊那市創造館や高遠町歴史博物館・信州高遠美術館などは、多様化する学習ニーズに応えるため、地域の学習拠点として施設整備を進めます。	○多様化した学習ニーズに応えるため、伊那市創造館や高遠町歴史博物館・信州高遠美術館・図書館などを地域の学習拠点として施設の整備を進めます。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
99	5-2-1 生涯学習 KPI	生涯学習の分野のKPIの設定が、以降の文化・芸術、スポーツの分野と比べ、あまりにも消極的であると感じる。それぞれ1.5%程度の増加を目標としているが、文化・芸術、スポーツの分野などはより高い目標設定をしているので、もう少し積極的な目標とすることを検討されたい。	【まちづくり指標(KPI)】目標値 公民館利用者数 173,000人 図書館利用者数 105,000人 生涯学習センター利用者数 148,500人	公民館利用者数 179,000人 図書館利用者数 108,500人 生涯学習センター利用者数 155,000人	(部) 検討する。 生涯学習施設利用者については、人口減や利用者の高齢化、退職年齢の引き上げなどにより、利用率の大きな上昇は見込めませんが、目標として、各館において講座の新規立ち上げ等に取り組むことで新たな利用者の呼び込みを図り、利用者数の増につなげられるよう努めます。
100	5-2-2 文化・芸術施策と展開方針 「3 文化芸術施設の充実及び活用」	歴史・文化を活用したまちづくりのためには、専任の学芸員が少ないと感じる。学芸員が専門であることは当然であるため、「学芸員などの専門職員…」の記述は「学芸員などの専任・専門職員…」と表記することを検討されたい。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○学芸員などの専門職員の配置を進めるとともに、職員の資質向上により、補修する貴重な資料や施設を活用し、充実に図ります。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○保有する貴重な資料や施設の一層の活用を図るため、専任の専門職員の配置に努めるとともに、職員の資質向上を図ります。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
101	5-2-2 文化・芸術施策と展開方針	文化財は単に保存して、そのまま誰にも触らせない、公開しないということではなく、活用して地域を活性化するという基本姿勢であるべきである。活用の部分の運用及び記述について、工夫をされたい。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○指定文化財については、保存活用計画等を作成し、計画的に保存活用事業を推進することに努めます。 ○旧中村家など歴史的建造物の保護を図るとともに、周遊コースの設定など、観光資源としての有効活用を図ります。	2 文化財の保存・継承・活用 ○指定文化財や歴史的建造物等を市民等の学習・研究及び地域の活性化に活かすため、保存活用計画等を作成し、適切な保存管理と有効活用を図ります。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
102	5-2-2 文化・芸術施策と展開方針	創造館には素晴らしい展示品があるが、まだまだ認知されていないと感じるため、観光や誘客につなげる積極的な情報発信やPRの取組をお願いするとともに、そのことについての記載を検討されたい。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○施設の特性を生かし、地域ゆかりの資料が散逸しないよう収集・保存・展示の充実に図り、郷土学習や研究の拠点とします。	3 文化芸術施設の充実及び活用 ○施設の特性を生かし、郷土学習や研究の拠点として、地域ゆかりの資料が散逸しないよう収集・保存を進めるとともに、展示の充実、情報発信に努めます。	(部) 表現を追記する。 意見を踏まえ、原案を修正します。

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.8-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
103	5-2-3 スポーツ 施策と展開方針 「2 スポーツに関わる人材育成」	指導者または、指導者を目指す者に対する補助制度など、具体的な支援策についての記述を検討されたい。	○子どもから高齢者まで気軽に楽しめる生涯スポーツ活動から競技力の向上を目指す競技スポーツまで、多様なニーズに対応できる指導者の確保・育成に努めます。	○子どもから高齢者まで気軽に楽しめる生涯スポーツ活動から競技力の向上を目指す競技スポーツまで、多様なニーズに対応できる指導者の確保・育成に努めるとともに、スポーツ関係団体の活動を支援します。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。 (具体的な内容は記載しない。)
104	5-2-3 スポーツ 施策と展開方針 「4 スポーツ施設の有効活用」	KPIでは施設稼働率を増やす内容であるが、利用者の調整会議で聞かれる意見は、予定が重なり希望する施設が使えないという意見が多いため、矛盾しないか。「効率的な利活用」とは、閑散としている施設への誘導のことか、新たな施設整備や統合などによることか、どのような想定のもとに記載された内容であるか、もう少し明確にされたい。	○「伊那市体育施設整備計画」を基に施設の統廃合を進めるとともに、施設の適切な維持・補修と市民ニーズの高いスポーツ施設の計画的な整備・改修を行い、スポーツに親しめる環境づくりと利便性の確保に努めます。 ○学校体育館を含め、既存のスポーツ施設の効率的な利活用を図ります。	○「伊那市体育施設整備計画」を基に施設の統廃合を進めるとともに、施設の適切な維持・補修を行い既存のスポーツ施設の効率的な利活用を図ります。 ○市民ニーズの高いスポーツ施設の計画的な整備・改修を行い、スポーツに親しめる環境づくりと利便性の確保に努めます。	(部) 検討する。 意見を踏まえ、原案を修正します。
105	5-2-3 スポーツ 施策と展開方針	全国大会、プロリーグなど、ハイレベルな大会の誘致は、小中学生の健全育成やスポーツの普及、競技力向上、ひいては観光誘客などにつながると考えるが、誘致のためには一定人数以上を収容できる施設であることや体育館の冷暖房設備など、施設整備や機能拡充が欠かせない。北信のエムウェーブ、中信のやまびこドームのように、南信(伊那市)に「伊那ドーム」を建設することを希望する。内容の記述について、検討されたい。		No.104に同じ	意見を踏まえ、原案を修正します。 (具体的な内容は記載しない。)